NANBU

教育目標

「自学、信愛、努力を基本とし、人間らしい生き方を求める生徒を育てる」

学校だより第２号
氷見市立南部中学校
令和６年５月17日

１学期がスタートして１か月半が過ぎ、多くの生徒たちは、新しい学年や学級での生活に慣れてきたようです。

大型連休が明けてから、１年生は校外学習、２年生は宿泊学習、３年生は修学旅行を、無事実施することができました。

３年生の２泊３日の修学旅行。広島では、戦争の悲惨さ・むごさ・平和の尊さを実感しました。大阪や京都では、多くの文化や歴史を肌で感じてきました。

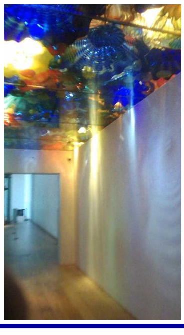
２年生の１泊２日の宿泊学習。能作やオダケホームでの制作体験・企業見学、高岡の瑞龍寺や金沢での班別学習、砺波青少年の家でのキャンドルサービス等、仲間との交流を深めながら、現地での体験や学習を行い、充実した学習内容となりました。

１年生は富山市での校外学習。午前はイタイイタイ病資料館や民族民芸村を全員で見学し、環境問題や歴史･文化について考えました。午後は５～６人の班で市内を回り、産業や交通、街づくりなどについて学習しました。

このように、学校を離れた場所での見学や体験を通した学習では、教科の内容と関連する部分もあります。事後学習では、文章でまとめて表現したり、分かりやすく他に伝えたりすることが大切であり、このような学習を重ねていくことで、生徒一人一人の成長につながっていると感じています。

さて、今週末から氷見市民大会から始まり、６月の地区選手権大会、７月の県選手権大会、そして８月の北信越大会、全中大会へと続きます。それぞれの目標に向けて、練習方法や内容を考え工夫しながら取り組み、一日一日を大切にしていってほしいと思います。

1年 校外学習



2年 宿泊学習

3年 修学旅行